ひがしかわ
東川町社会福祉協議会は、子どもから高齢者まで
みんなが笑顔で過ごせるまちづくりを目指します！

社協だより

2022年（令和4年）
10月
No.145

ぼだい樹農園コンサート

大久保さん

藤田先生

伊東さん

9月5日第8回目となる「ぼだい樹農園コンサート&ミニ収穫祭」を開催しました♪

前半はコンサート♪大久保さんのギター弾き語り、そして唱歌の会のみなさんの素敵な歌声とさらに藤田尚量先生にはコントラバスの演奏をしていただき、初めて近くで見る方も多く大きさにびっくりされていました。今年もみなさんと一緒に素晴らしいひとときを過ごせて癒されました。

後半はミニ収穫祭！村田さん手作り水羊羹と伊東さん特製ハーブティーで心もおなかも満たされて、最後に農園で収穫したレッドムーンと枝豆を手にみなさんとてもいい笑顔でした！

ぼだい樹の会『ミニどん祭り』

8月1日ぼだい樹の会「ミニどん祭り」を開催しました！ ビンゴ大会やスイカ割り、屋台にはかき氷、ポップコーン、今年はフリーマーケットもあり、みなさんと一緒に楽しいひと時を過ごせました!

発行：東川町社会福祉協議会
〒071-1423　上川郡東川町東町1-7-14　tel 0166-82-7505　fax 0166-82-7301

この社協だよりは、共同募金の配分を活用しています

令和4年度

ひとあじちがう洗車場

今年度もひとあじちがう洗車場を開催しました！初回は小雨も降ってしまい、急遽通路内での拭き上げ作業。久しぶりの洗車でしたが、みなさん手際よく、ピカピカに仕上がりました。ご予約のお客様にも喜んでいただけて良かったです☺

第1回8月24日(水)

ピカピカじゃ！

きれいになったかな？

第2回9月15日(木)

ご予約受付中！

【次回開催予告】

10月6日(木)
13:30～
予約受付:先着2台
料金:1台500円

洗車申込:東川町社協
(長谷川・佐藤まで)
TEL:82-7505

ひがしかわ　ボランティアセンターだより　第56号

美瑛町　東川町

ボランティアセンター合同交流会

9/8（木）美瑛町福祉センターにて美瑛町・東川町ボランティアセンター合同交流会を開催しました。それぞれの町でのボランティア活動や取り組みを紹介。地域主体による支え合いや助け合い、幅広い分野でのボランティアの重要性や課題を再認識し、今後のボランティア事業推進に向けた貴重な学びの機会となりました。

10月 あそばん会

子どもから高齢者までどなたでも参加できる遊びの場。
一緒に楽しくあそびませんか？準備や一緒にあそんでいただけるボランティアも募集しています！

あそび	日時		場所
花札	10月12日(水)	13:30～15:00 ※時間を変更しました	東川町 社会福祉協議会 (事前申込制)
百人一首	10月14日(金)		
将棋	10月19日(水)		
麻雀	10月21日(金)		

紙おむつサービス事業

在宅での介護を必要とし、常時紙おむつを必要とする方（要介護2以上）に対して**1回5,000円分**の紙おむつ券を**年2回支給**しています。

10月より、今年度2回目の支給受付が始まりました。ご希望の方は当社協へお申し込み下さい。

フレンドシップながさわさんからの伝言板

ご家庭に眠っている食器、洋服はありませんか？もしありましたら、東川に来ている留学生に譲ってもらえると嬉しいです♪（不揃い大歓迎、クリーニング`していなくてもオッケー！）

お問い合わせ　フレンドシップながさわ
電話　82−2024

東川町診療所で診察を受けた時の医療費分助成事業

（薬剤費は対象外）

後期高齢者医療保険1割負担の方で（10月1日から2割負担の方も含みます）、まだ申請書を提出されていない方はご提出下さい。なお、一度申請書を提出すれば、その後の手続きは不要です。

除雪費用助成事業の受付が始まります

高齢や障害等により除雪が困難な世帯に、住宅の生活用通路の除雪をするための費用を助成します。

（12月～3月　月3,000円まで助成）

ご案内は各町内会に回覧でまわりますので、ご希望される方は添付の申請書で当社協までお申し込み下さい。なお、申請書用紙は役場保健福祉課と社協窓口にも用意しております。

～新しい職員が仲間入りしました～

地域福祉係事務員　佐藤　華代

出身地：旭川市
ひと言：東川町が大好きで4年前に引越して来ました。地域のみなさんの笑顔をもっと増やせる様に頑張っていきますので、よろしくお願いします。

訪問介護員　小林　裕希

出身地：旭川市
ひと言：8月より社協ヘルパーとして勤務しています。施設勤務の経験を生かして、頑張りたいと思います。これからよろしくお願い致します。

－困った時に誰もが「助けて」と言える町に－　第26回

「息子という思いこみ」

しばらくぶりに会ったAさんは町の公共施設に着くなり「あーあ疲れた。昨日まで大変だったの」と話す。「あら大変だったんですか」と思わず声をかけた。「そうなの私ね、オレオレ詐欺に合うところだったの」とまだ興奮さめやらぬ表情だ。4、5日前に息子（そう思った）から電話が来た。中学の同窓生から頼まれて保険に入った。その書類が書留で親の所に行くので受け取って欲しいという内容。3日程してまた電話が来たので「書留来ないよ。母さん色々と出かける事多いけど家で待ってたよ」と伝えた。すると相手は「不在票届くから大丈夫」と。更に「今度Sという人から電話行くので出てね」と言う。Aさんは息子の友達にSという人がいたかも知れないと思ってしまう。次の日、Sから電話が来た。「携帯と財布と封筒を預っている」と言う。Aさんはテッキリ息子の物を拾ってくれたんだと解釈。それなら息子に礼を言わせなければとSの電話番号を聞く。伝えられた番号はフリーダイヤル。だが何の疑念も抱かず2度も確認しメモした。Sなる人物は携帯番号教えてと言い出したが、Aさんはちょうど解約したばかりだった。その時、少し変だなと思ったが、とにかく息子に知らせなければとSとの電話を切る。

仕事中、母からの電話に「母さんどうしたの。何かあったの」と息子。するとAさんは「何言ってるの。あんたこの間からずっと電話かけて来てたしょ」と返した。すると「俺電話してないよ。母さんそれオレオレ詐欺だよ。今すぐ警察に行きなさい」と言われた。その時Aさんは初めて「ああこれが息子の声だ」と気づく。その後、無我夢中で駐在所へ。

Aさんは普段から気づかいの人で相手の話が曖昧でも善意に解釈するタイプ。今回の詐欺のシナリオは息子に礼を言わせるという思わぬ展開で立ち消えとなった。それにしても全く他人なのに「息子という思いこみ」はまるで通り魔のように突然襲って来るのだろうか。

ひとりひとりの小さなお金。
そのお金に「誰かの助けになりたい」という
気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、
大きな力に変わります。
赤い羽根は、小さなことをしています。
小さな活動をたくさん、何十年と続けています。
つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金

～・☆・～

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。
毎年町内会にご協力いただいている戸別募金の他にも、町内の赤い羽根募金箱を
設置させていただいているお店や社会福祉協議会事務所でも募金をすることができます。
また、事務所玄関横の自動販売機で飲み物を買っていただくと、一部募金になります。
さらに、インターネットでも募金ができます。(「赤い羽根」で検索してみてね)
いろいろな方法で、わたしたちの町のために、ご協力よろしくお願いします。

いただいた募金は、約7割がわが町東川町に、約3割が災害復興のためや道内の福祉団体等で使われます。
わたしたちの町のためには・・・高齢者ひとり暮らしの集い事業や高齢者への紙おむつ券支給事業、ぼだい樹の会(家族介護者支援の会)など団体の活動推進、広報活動(社協だより)事業などに使われています。

「ちょこっとカレンダーリサイクル市」開催のご案内

場所:高齢者いきいきセンターホール
日時:令和5年1月16日(月)～31日(火)　10:00～15:00
　　期間内にご自由にご覧ください。お代は赤い羽根募金とさせていただきます。

不要な2023年(令和5年)カレンダーをご提供いただける方は、東川町社会福祉協議会へお届けください。
集める期間:12月中旬～1月中旬　平日8:30～17:15(土日祝日と12/31～1/5はお休みです)

お知らせ

「令和4年7月宮城県・8月青森県の大雨災害義援金」の募集をそれぞれ10月31日・12月28日まで行っています。
義援金の寄附をご希望の方は、当事務局までご連絡をお願いします。
※義援金の寄附や赤い羽根・歳末たすけあい募金については、税制優遇措置の適用対象となります。
　詳しくは当事務局までご確認ください。

募金受付・お問合せは　東川町共同募金委員会(東川町社会福祉協議会内)☎(0166)82-7505